

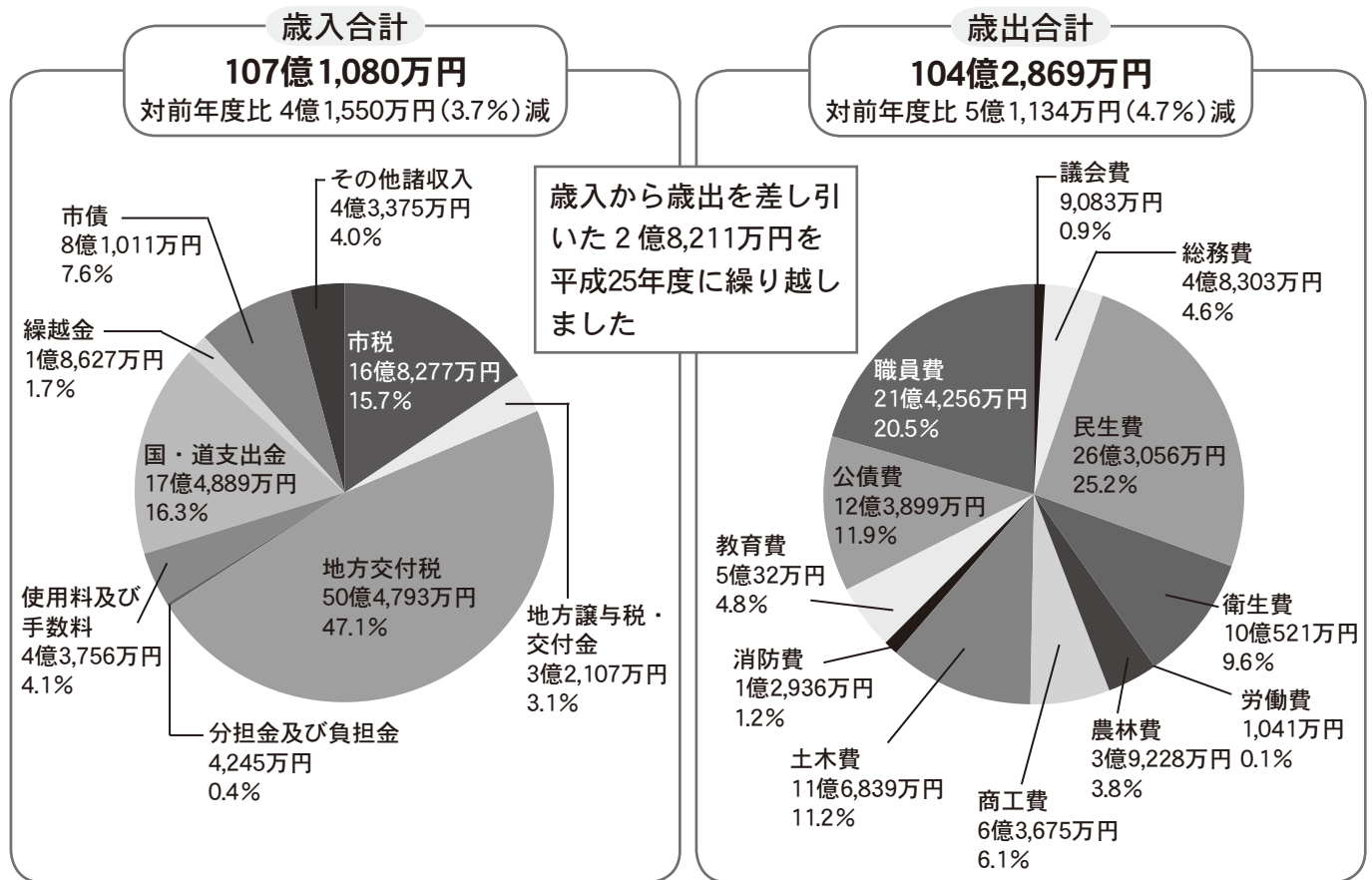
決算の状況をお知らせします

市は、皆さんから納めていただいた市民税、固定資産税などの税金や国・北海道から受ける交付金などを基に予算を組み立て、皆さんが安心して暮らすことのできる住みよいまちづくりに取り組んでいます。今月は、市の予算がどのように使われたのか、平成24年度の決算状況をお知らせします。

一般会計

福祉や教育など、市の基本的な事業の会計です。

歳入と歳出の差引額 2 億8,211万円から平成24年度繰越明許費712万円と前年度の歳入と歳出の差引額 1 億8,215万円を差引いた結果、9,284万円の黒字となりました。



◆市民1人あたりの歳入と歳出◆

※平成25年3月31日現在の人口(住民基本台帳ベース・16,196人)で割って算出

歳 入			歳 出		
市 税	皆さんが納めた税金	103,900円	議 会 費	議会運営にかかる費用	5,608円
地方譲与税・交付金	消費税の一部として交付されたお金や自動車取得税などから分配されたお金など	19,824円	総 務 費	地域振興や庁舎管理、情報化推進などの費用	29,824円
地方交付税	一定のサービス水準を確保するため、人口や税収などに応じて国から配分されるお金	311,678円	民 生 費	高齢者、障がい者、児童などの福祉の費用	162,420円
分担金及び負担金	保育料などの特定の利益を受けるかたが負担されたお金	2,621円	衛 生 費	ごみ処理、保健衛生などの費用	62,065円
使用料及び手数料	施設の使用料や住民票の手数料など	27,017円	労 働 費	雇用や労働環境向上などに対する費用	643円
国・道支出金	市の事業に対し、国や道から交付されたお金	107,983円	農 林 費	農業振興や林業振興などの費用	24,221円
繰越金	前年度から繰り越されたお金	11,501円	商 工 費	商工業振興や観光などの費用	39,315円
市 債	国や金融機関から借り入れたお金	50,019円	土 木 費	道路、河川、公園などの費用	72,141円
その他諸収入	寄附金や財産収入など	26,781円	消 防 費	消防、救急活動の費用	7,987円
			教 育 費	小中学校、生涯学習振興などの費用	30,892円
			公 債 費	国や金融機関などから借り入れたお金の返済費用	76,500円
			職 員 費	市職員の給与や退職金	132,289円

特別会計

一般会計とは別に、独立して経理を行う会計です。8つある特別会計には赤字の会計はありませんでした。

会計名	予算額	歳入	歳出	歳入歳出差引額
奨学資金	1,916万円	2,000万円	1,911万円	89万円
国民健康保険	26億2,448万円	27億1,207万円	25億6,348万円	1億4,859万円
新城町簡易水道事業	221万円	210万円	187万円	23万円
西芦別地区簡易水道事業	1億5,215万円	1億5,102万円	1億4,816万円	286万円
下水道事業	7億5,555万円	7億5,308万円	7億5,308万円	0万円
介護保険事業	19億145万円	18億5,773万円	18億3,851万円	1,922万円
介護サービス事業	5億4,754万円	5億3,716万円	5億3,345万円	371万円
後期高齢者医療	2億8,640万円	2億7,547万円	2億7,462万円	85万円
合計	62億8,894万円	63億863万円	61億3,228万円	1億7,635万円

企業会計

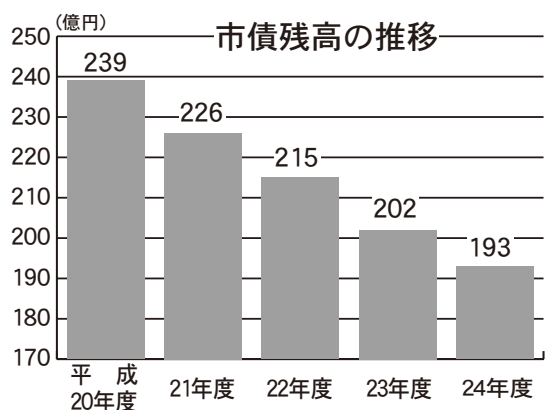
民間企業のように、利用料金などの収益で運営する会計です。

会計区分	収支区分	収入	支出	収支差引額
病院事業会計	収益的収支	20億4,475万円	21億8,722万円	▲1億4,247万円
	資本的収支	10億7,859万円	11億4,527万円	▲6,668万円
水道事業会計	収益的収支	3億6,074万円	3億2,672万円	3,402万円
	資本的収支	2億2,710万円	3億5,676万円	▲1億2,966万円

市債

市債とは、市の借金のことです。一般、特別、企業各会計の市債残高の合計は、グラフのとおり着実に減少しています。

区分	平成24年度末現在	平成24年度元利償還金
一般会計	92億3,177万円	12億3,688万円
西芦別地区簡易水道事業特別会計	13億9,370万円	1億2,432万円
下水道事業特別会計	50億7,198万円	6億686万円
介護サービス事業特別会計	7億2,116万円	5,796万円
病院事業会計	12億6,140万円	2億6,572万円
水道事業会計	16億630万円	3億112万円
合計	192億8,631万円	25億9,286万円



市の財産

平成25年3月31日現在

市が市民の皆さんに対して、さまざまなサービスを提供するために持っている土地や建物、そのほかの財産は次のとおりです。

区分	金額		
一般会計	減債基金	2億9,308万円	
	地域振興基金	4億7,865万円	
	福祉基金	2億9,592万円	
	桜ヶ丘霊園基金	1,198万円	
	産業振興基金	1億5,369万円	
	学校教育施設整備基金	1,274万円	
	生涯学習・スポーツ振興基金	4,452万円	
	学校基金	517万円	
	特別会計	奨学基金	9,159万円
		介護保険基金	2億224万円
保健福祉施設基金		6,185万円	
国民健康保険基金		8,498万円	

○土地・建物

区分	面積	
土地	公の施設	455万5,287㎡
	山林	528万5,023㎡
	その他	104万1,732㎡
	計	1,088万2,042㎡
建物	25万6,678㎡	

○有価証券・出資による権利

区分	金額
有価証券(株券)	6,454万円
出資金・出えん金	1億2,851万円

○北海道市町村備荒資金組合納付金

区分	金額
普通納付金	1億1,161万円
超過納付金	21億6,523万円
合計	22億7,684万円

都市計画税の使途状況をお知らせします

■都市計画税の使途内訳

区分	金額(千円)	構成比(%)
公園管理事業	49,456	5.9
公園整備事業	5,321	0.6
下水道事業	24,016	2.9
地方債償還額(※)	754,508	90.6
合計	833,301	100.0

※街路、公園、下水道事業のために借り入れた地方債償還額

■都市計画事業等の財源内訳

区分	金額(千円)	構成比(%)
都市計画税	64,333	7.7
国・道支出金	6,678	0.8
地方債	15,500	1.9
一般財源等	746,754	89.6
その他	36	0.0
合計	833,301	100.0

都市計画税は、街路、公園、下水道整備などの都市計画事業等の費用に充てるため課税される目的税で、都市計画区域のうち、用途地域内に土地や家屋を所有している方に、その資産の価格に応じて納めていただく税金です。

平成24年度の都市計画税(6,433万3千円)は、左記のとおり都市計画事業等(8億3,330万1千円)の財源として活用しました。

平成24年度決算 主な事業の成果

事業名	決算額	事業の成果の内容
庁舎等整備事業	1,355万円	市役所庁舎議会棟屋上防水工事を実施しました。
情報通信基盤整備事業	4,160万円	北芦別デジタルテレビ中継局を整備し、新城・黄金地区の地上デジタル放送難視聴地域の解消を図りました。
防犯灯省エネ対策整備事業	1,459万円	平成24年度から4年計画で市内にある水銀灯をLED電灯に交換し、電気料金の低減を図っています。
福祉センター整備事業	1,890万円	老朽化した総合福祉センターのボイラーを更新しました。
子どもセンター整備事業	1,733万円	子どもセンターの屋上防水工事を実施し、安心安全な保育環境の整備を図りました。
し尿処理事業	1,074万円	芦別市内の下水道未整備地区における、合併処理浄化槽の整備に対する補助金の交付を行い、環境衛生の向上を図りました。
農業振興対策事業	1,247万円	認定農業者等が農業用機械施設等を導入する際の融資残に対して助成を行い、多様な経営体の育成・確保が図られました。
路網整備事業	1,562万円	林内の路網を整備し、地域材の生産体制を確立し、木材を安定供給するとともに、内需振興産業である林業・木材産業の再生を図りました。
森林環境保全整備事業	7,169万円	市内民有林における森林資源の確保、地元木材の価値の向上、民有林林業の振興及び京都議定書目標達成計画に伴うCO2吸収源対策を図りました。
新産業創造等事業	3,180万円	市内企業等が行う、新産業設備の整備等に対して助成金を交付し、市内産業の活性化を図りました。
健民センター整備事業	6,543万円	スターライトホテルの外壁補修工事及び、木質チップボイラー設置工事にかかる設計業務等を行いました。
道路改修事業	1億4,543万円	上芦別かりがね7番線ほか8路線の改良舗装工事などを実施し、段差の解消などを図りました。
除雪グレーダ購入事業	2,499万円	既存の除雪グレーダの老朽化により、除排雪作業に支障のないよう更新しました。
河岸整備事業	1,026万円	快適、安全な河川環境の創出により、流域の安全確保することを目的とした、黄金二股川護岸整備工事を実施しました。
公営住宅建設事業	2億5,928万円	高齢入居者の生活に配慮したさつき団地3棟14戸の建設や老朽化した住宅5棟20戸の除却工事などを実施しました。
消防用車両等整備事業	6,473万円	老朽化した署1号車及び消防指令車の更新、消防救急無線デジタル化基本設計業務を実施し、消防体制の充実・強化を図りました。
学校給食センター整備事業	2,104万円	安心安全な給食の提供を行うため、老朽化した給食センター設備の更新を行いました。

平成24年度寄付金の状況を公表します

■受領した寄付金の状況

区分	件数	金額
個人	26件	11,206,000円
企業・団体	9件	356,337円
合計	35件	11,562,337円

市には毎年、個人、企業・団体から多大なるご厚意のもと、多くの寄付金が寄せられています。善意で寄せられましたこの貴重な寄付金は、市のまちづくりの大きな支えとして、有効に活用させていただいており、皆様のご芳志に改めて感謝申し上げます。

■寄付金を活用した事業の運用状況

事業の種類	運用額	活用事業
消防施設等整備事業	6,000,000円	消防指令車の購入費として
福祉事業	5,377,035円	総合福祉センター管理運営費、高齢者福祉費の一部として
農業担い手等育成事業	354,760円	農業経営研修事業補助金、経営基盤確立借入金償還利子補給金として
企業振興事業	5,037,000円	新製品または新技術開発事業、空き地または空き店舗活用事業、雇用奨励事業に対する補助金として
観光振興事業	3,097,500円	ラジオ番組のスポンサー料として
青少年健全育成事業	994,000円	空手之道世界連盟第14回全道空手選手権大会及び全道技術講習会への参加費、ほか19事業に対する補助金として
スポーツ振興事業	127,000円	第19回北海道ブロックパウンドテニス親善交流大会、ほか4大会に対する補助金として
文化財保護事業	5,334,000円	炭山川橋梁枕木交換工事費として
合計	26,321,295円	

※上記運用に活用した以外の寄付金につきましては、基金として積み立て、後年度の事業に有効活用させていただくこととしました。

健全化判断比率と資金不足比率を公表します

平成19年6月に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(財政健全化法)により、毎年度、健全化判断比率と資金不足比率を算定し、公表することが義務づけられています。

平成24年度決算に基づいて算定された芦別市の健全化判断比率は、財政再建に取り組まなければならない基準(早期健全化基準)を下回っています。

●平成24年度決算に基づく健全化判断比率

区 分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
芦別市の公表数値	—	—	12.6 (12.4)	148.8 (158.5)
早期健全化基準	14.21 (14.15)	19.21 (19.15)	25.0 (25.0)	350.0 (350.0)
財政再生基準	20.00 (20.00)	30.00 (30.00)	35.0 (35.0)	

※1 実質赤字比率または連結実質赤字比率がない場合は「—」と記載しています。

※2 ()内は平成23年度決算に基づく数値です。

1 実質赤字比率

標準的な収入に対する赤字額

赤字なし

一般会計等の赤字が標準的な収入に占める割合を示す指標です。
家計簿に例えると、世帯主の収入に対して赤字額が占める割合になります。

2 連結実質赤字比率

標準的な収入に対する各会計を連結した赤字額

赤字なし

全ての会計等の赤字が標準的な収入に占める割合を示す指標です。
家計簿に例えると、世帯主収入の合計に対して家族全員の赤字額が占める割合になります。

3 実質公債費比率

標準的な収入に対する借金返済の負担割合

健全

標準的な収入における地方債(国や銀行などからの借入金)の返済額などが占める割合を示した指標です。
家計簿に例えると、住宅ローンなどの返済額が収入に占める割合になります。

4 将来負担比率

標準的な収入に対する将来の実質的な債務などの負担割合

健全

標準的な収入における今後負担することになっている負債額などが占める割合を示した指標です。
家計簿に例えると、住宅ローンの残高が現在の収入に占める割合になります。

●平成24年度決算に基づく資金不足比率

企業会計・特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0%
市立芦別病院事業会計	—	20.0%
新城町簡易水道事業特別会計	—	20.0%
西芦別地区簡易水道事業特別会計	—	20.0%
下水道事業特別会計	—	20.0%

※資金不足比率がない場合は「—」と記載しています。

資金不足比率

公営企業会計の事業規模に対する赤字額

資金不足なし

毎年の事業収入に対して現金がどのくらい不足するのかわかる指標です。
家計簿に例えると、世帯主以外の家族一人一人の収入に対する赤字額の割合です。